

二〇二四年度

入学試験問題

国語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

- 一、問題冊子は監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 二、監督者の指示により、最初に問題冊子の表紙と解答用紙の、指定されたらんに受験番号と氏名を記入してください。
- 三、試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
- 四、受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
- 五、字数に制限のある問題では「、」「や」「。」などの記号も一字と数えます。
- 六、解答用紙は持ち帰らないでください。

受験番号
5

氏名

〔二〕 次の――部のカタカナを、漢字に改めなさい。

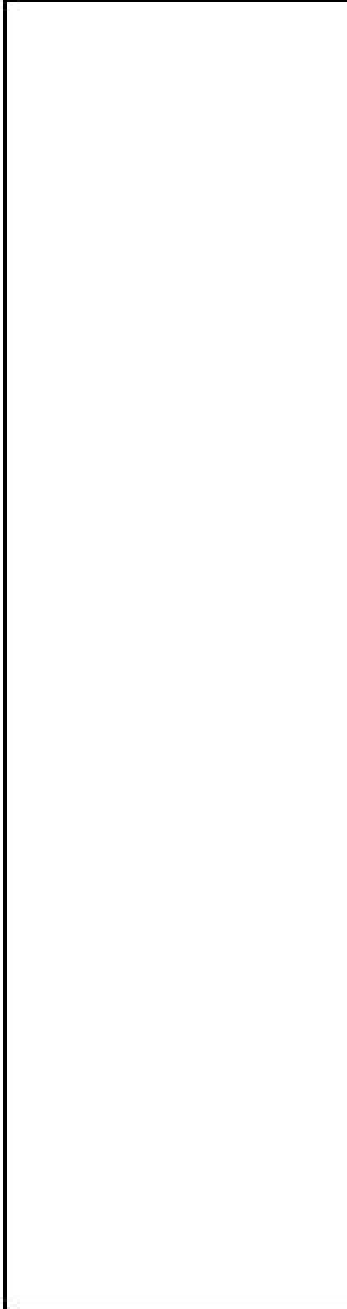
- ① 名画をフクセイする。
- ② リーダーがドクダンで進める。
- ③ カンレイにしたがう。
- ④ カンケツな表現を目指す。
- ⑤ 新しい提案にサンセイする。
- ⑥ 一家のシチュウを失う。
- ⑦ この上なくツウカイな気分。
- ⑧ 毛糸でセーターをアむ。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物利用のため本文は削除します

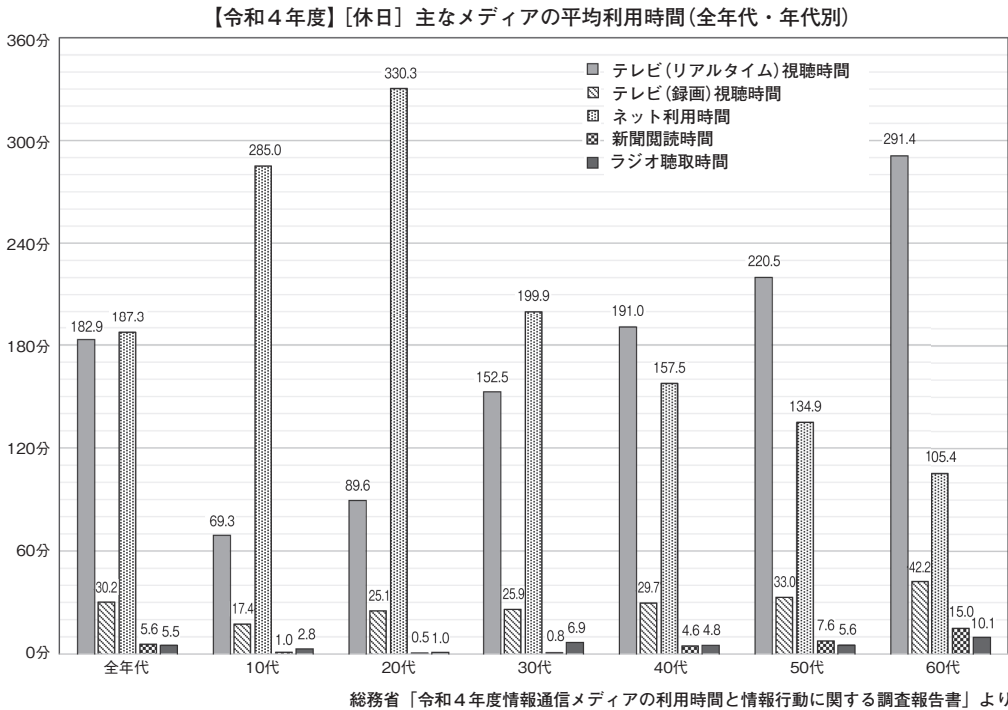
著作物利用のため本文は削除します

著作物利用のため本文は削除します



問一 — 部1「総務省などの調べ」とありますが、次のグラフは総務省が各年代の休日におけるメディアの利用時間をまとめたものです。グラフの説明として正しくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア テレビの視聴時間はリアルタイムも録画も60代が最も多い。
- イ 30代以下はどの年代も新聞よりもラジオの利用時間が多い。
- ウ 40代以上の年代はネットの利用時間よりもテレビのリアルタイム視聴時間の方が多い。
- エ メディアの中で新聞の利用時間が最も少ない年代は10代である。



問二 — 部2「疲れませんか」とありますが、何が人間を疲れさせると筆者は考えていますか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 掌サイズの小さな画面から大量の情報が提供されることによる情報処理の負担。
- イ 嫌われたくないという思いから相手の顔色ばかりうかがって振り回される精神的な負担。
- ウ 軽い端末だとはいえ使用のために長時間持ち続けなければならないという身体的な負担。
- エ 会ったこともない人ともやりとりをしなければならないという精神的な負担。

問三 —— 部3 「そういう人間関係」とありますが、それはどのようなものですか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分を実際よりもよく見せようとする発言をしあっている人々が、そうできる空間を保ちたいがために、否定的な反応をしないようにしている関係。

イ 自分は周囲の人々よりも優れているという満足を多くの人が感じられるように、現実とは異なる自分を演出する機会を順番に与えあう関係。

ウ 他人によく思われたいという強い思いから、自分自身を誇張した内容が次第に増え、どちらが人として立派であるかを張り合うようになる関係。

エ コミュニケーションが活発かつ面白くできることのみに主眼が置かれているために誰も本当の自分を見せない、嘘で塗り固められた関係。

問四

—— 部4 「大学生の人間関係はどんどん稀薄になっている」とありますが、筆者はなぜそのような考えのですか。その理由を「親友」という言葉を用いて一文で答えなさい。

〈下書き欄〉

--

問五

—— 部5 「そういう状況を生み出しているのが、SNSではないか」について次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 「そういう状況」とはどのような状況ですか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア SNSでのコミュニケーションでは盛り上げられるが、実際に会うとしっかりと話すことができない状況。

イ 少しでも相手のことが理解できたと思ったら楽しいことも苦しいことも共有して親身に接することができる状況。

ウ 一般的に若者には悩みが多く、相談できる存在は欠かせないものだが、そういう存在が身近にいる人は少ないという状況。

エ SNSでコミュニケーションをとることが便利で楽なあまり、相手と直接対面する必要性が減っている状況。

(2) SNSについて、筆者はどのように見えていますか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分を誇張することが多いSNSばかり多用していると、相手の本当の姿を認識しようという意志がSNSを使っている人の中に働かなくなり、真に相手を理解することができなくなってしまふ。

イ SNS上でのコミュニケーションは、相手に無視されることを恐れるあまり、相手に都合の良いことしか言わないため、何が正しいのかを全て相手にゆだねるようになってしまふ。

ウ 私たちは画面上の文字によってしか相手を理解できないため、SNSの使用者はその言葉に隠された感情を読み取ることができず、直接会ったときの振る舞い方がわからなくなってしまふ。

エ SNSは相手の状況が見えにくく、相手が本当はどのような存在であるかを把握しきれない中でコミュニケーションをとるため、相手に嫌われない発言だけをするようになってしまふ。

問六 ——部6「この「自分のほうが正しい」と言いたくなる感情は曲者です」とありますが、それはなぜですか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分の意見が正しいことに異常なほど自信を持つあまり、一度他人に意見を否定されると意見をぶつけ合うのが嫌になつて、他者と積極的にコミュニケーションをとろうとしなくなるから。

イ 自分は正しいと思うために同じ意見の人をSNSで探していたはずが、自分と反対の意見を見つくと過度に反発するようになり、「仲間」を見つけない行動が逆に孤立する結果になってしまふから。

ウ 自分の考え方は誰にとつても正しいものであるという思考から、他者に自分の考え方を押しつけようとするだけでなく、異なる意見を持つ人に対して非難や拒絶をしてしまふようになるから。

エ SNS上の情報から自分の考えを作り上げたので、SNS上の意見であれば正しいかどうかを問わず関心を持つて見ることができると、実際に会う人の意見には全く無関心になってしまふから。

問七 筆者はこの書籍の中で、「正しい」にこだわり続けているのは現代人だけではない」と述べた後、次のように書いています。これを読んで、後の(1)・(2)に答えなさい。

著作物利用のため本文は削除します

(1) 〓部「そんな悲劇」とありますが、その説明として最もふさわしいものを次のA〜Eの中から選び、記号で答えなさい。

A 英雄と呼ばれる権力者たちが一方的に攻撃を仕掛け、小さな部族を制圧して国を統治したように歴史書には記されるが、実際には共存共栄を求めて交渉したにもかかわらず理解してもらえなかったことによるやむを得ない行動だったということ。

I 歴史書では、英雄が悪者を倒して平穩になったという良い話として記されているが、見方を変える
と、小部族が強大な勢力によって制圧され、命や生活を奪われたにもかかわらず、汚名を着せられ続
けていること。

ウ 歴史書では英雄と称される人物がいた権力を持った側の武勇伝だけが記されているが、戦いに負
けた側の小部族の勇姿に関してはまったく語られておらず、また、その勇姿を語ることでできる後継
者も存在していないということ。

E 時代の中で英雄が悪い部族を倒して世の中を統治し、多くの人々が豊かになっていったにもかかわらず、
少数の悪い部族たちの子孫がその統治に納得できず、歴史は間違っていると主張し続けている
こと。

(2) この文章を読んで、生徒たちが身近な童話について、とらえ方を考え直してみました。筆者の考え方を理解して発言している生徒を次のA〜Dの中から選び、記号で答えなさい。

生徒A…「浦島太郎」は浦島太郎が子どもたちにいじめられていた亀を助けて、お礼に竜宮城に行くと話です。もちろん生き物をいじめることはよくないですが、子どもたちがせつなく捕まえた亀の権利を金銭で奪い取るうとする浦島の欲深い一面を描いた作品ですね。

生徒B…「桃太郎」では、桃太郎が突然「鬼退治に行く」と言い出して、鬼ヶ島に行って鬼を征伐する話が一般的ですが、鬼側からすると、自分たちの島に住んでいたところに突然やってきて制圧されるのを「鬼退治」とするのは、まさにこの文章の勝者と敗者の関係と同じですね。

生徒C…「こぶとりじいさん」では、大きなこぶに困っていたおじいさんが鬼の前で上手に踊ると、翌日も踊らせるために鬼がこぶを人質としたため、こぶがなくなつた話ですが、おじいさんがこまっていたこぶを結果的にとつてくれたので鬼はとてもよい存在に描かれていますね。

生徒D…「一寸法師」は、「桃太郎」と同様に鬼を退治する話ですが、この話の鬼は村人たちに一方的に悪事を働いていたところを一寸法師に退治されるものの、「打ち出の小槌」を奪われてしまうので、一寸法師こそが悪であると言えますね。

〔三〕 次の文章は森絵都「子供は眠る」の一節である。いとこ同士の「ぼく」（恭）、智明、ナス、じゃがまる（ナスの弟）、章の五人は毎年夏に二週間、章の呼びかけで章の父の別荘に集まって過ごしている。過去にこの集まりに参加した他の子どもが章の機嫌を損ねて誘われなくなったことを知っている「ぼく」、智明、ナスの三人は、年長者ぶろうとする章を陰で笑いながらも、章の機嫌を取ってきた。本文は、そんな三人から仲間外れにされていると感じたじゃがまるが四人の前で泣きわめき、章が三人を嫌味たっぷりにたしなめた出来事の後場面である。文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物利用のため本文は削除します

著作物利用のため本文は削除します

著作物利用のため本文は削除します

著作物利用のため本文は削除します

問一 〰〰〰部A・Bの意味として最もふさわしいものを、次のア～エの中からそれぞれ選び、記号で答えな
よ。

A おめでたい

ア 縁起えんぎがよい イ お人好おんじょうしな

ウ 初々うづうづしい エ 能天気のんていきすぎる

B 時が凍りつく

ア 責任せきにんを押しつけあうような視線しせんが交かわされる

イ 恐怖きょうふで足あしがすくんで誰だれも動うごけなくなる

ウ その場に緊張きんじやうが走はって気きまずい霧きり囲い気きになる

エ 他の人の出方でかたをうかがいあう時間が続つく

問二 —— 部1「わざわざそんな読み方をするナス」とありますが、なぜナスは「そんな読み方」をしたのですか。説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 章の顔色をうかがって我慢してきた二週間分のストレスを、章に気付かれないかたちで晴らそうとしたから。

イ 章よりも英語ができることが章にばれて、来年の夏からこの別荘に誘われなくなることを選んだから。

ウ 自分に英語を教えられなくなった章の張りきりが恭や智明に向いてしまって、二人の迷惑になるのを恐れたから。

エ 章が教科書のどこを教えたがっているか予想できなかったので、一部を器用に間違えることができなかったから。

問三 —— 部2「真つ赤な顔のじゃがまる」についての説明としてふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア みんなの間に以前のような仲の良さが感じられなくなっていることに不安を感じ続けてきた。

イ 自分がみんなの関係に決定的な亀裂を生じさせてしまったのを感じ取って、気まずく思っている。

ウ 自分の精神的な幼さをみんなに許してもらっていたことを今さら知って、恥ずかしくなっている。

エ みんなが険悪になっっている場面からすら除け者にされて、不満を爆発させている。

問四 —— 部3「どうだおまえら、うれしいだろ？」と言った章についての説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 恭たちに機嫌を取られていたと知った後も、驚きと悲しみを隠して年長者らしく振る舞おうとしているが、投げやりな気持ちまでは隠せずにいる。

イ 恭たちに尊敬されていると思っていたが、思いこみだったと知って恥ずかしくなり、じゃがまるを追いかけるふりをして出ていこうとしている。

ウ 恭たちに嫌われても面倒を見る責任を果たし続けてきたが、まったく無意味な努力だったとわかった今は、抑えてきた不満をぶつけようとしている。

エ 恭たちに気をつかわれていたことを知った直後は言葉を失ったが、取り乱したじゃがまるを見て落ち着き、すぐに年上らしい態度を取り戻している。

問五 ―― 部4「章くんがそう言ったとき、申しあわせたわけでもないのに、ぼくらはいつせいかぶりをふっていた」のはなぜですか。一文で説明しなさい。

〈下書き欄〉

問六 本文中の描写についての説明としてふさわしくないものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 2～3行目「こわれたシャワーみたいな小雨が降りつづき、くだれもがなんとなく浮かぬ顔をしていた」が展開の不穏さを感じさせ、16行目「翌日も雨は降りやまず、ぼくらはますます無口になった」がそれをさらに強めている。
- イ 37～39行目の晴れあがった夏の風景は、36行目「すべてをひっくりかえしてしまったんだ」の後に置かれることで、この後の波乱を予感させる役割を果たしている。
- ウ 92～96行目の砕けた貝殻についての記述は、恭たち五人の崩れてしまった関係を象徴しているだけでなく、貝殻を見ることができないほど恭が混乱していることも表している。
- エ 118行目「音のないリビング」には、じゃがまると章の言動にふり回された恭たち三人の疲れが表れている。

問七 ―― 部X「裸の王様」を含む段落(30～33行目)には、デンマークの作家アンデルセンの童話『裸の王様』(一八三七年)の内容が引用されている。次の文章を読んで、後の(1)・(2)に答えなさい。

著作物利用のため本文は削除します

- (1) 『裸の王様』の登場人物と本文の登場人物を照らし合わせて、次のように表にまとめました。 [A]
) [C] をうめる言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを後のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

「裸の王様」	本文	位置づけ
皇帝	章	逆らえる者がいないせいで、自分をかえりみる事ができなくなっている人
詐欺師	[A]	他者のおろかさにつけこんでます人
家来や観衆	[B]	皇帝の前で調子を合わせている人
小さな子ども	[C]	真実を口にする、心の純粋 <small>じゅんすい</small> な人

- ア A…ナス B…恭、智明、ナス C…ナス、じゃがまる
 イ A…恭、智明、ナス B…恭、智明、ナス C…じゃがまる
 ウ A…ナス B…恭、智明、ナス、じゃがまる C…じゃがまる
 エ A…恭、智明、ナス B…恭、智明、ナス、じゃがまる C…ナス、じゃがまる

- (2) 〓部Xの直後の「王様はそのとき、どんな気がしただろう？」についての説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 語り手としての恭が、あわてるばかりで自分の気持ちさえ正確にとらえられていなかった当時の自分の気持ちを客観的に整理しながら、今も明確に想像できない章の内心に思いをはせている。
 イ 語り手としての恭が、信じていた相手に裏切られた章の悲しみを想像しながら、章を王様の立場にしてしまった自分たちの行いを反省して、子どものような純粋さを取り戻そうとしている。
 ウ 語り手としての恭が本文の出来事を後からふりかえって、当時の自分の焦りを思い出しながら、章の表情を見て罪悪感をおぼえるばかりで、章の内心を想像できなかった自分を恥じている。
 エ 語り手としての恭が本文の出来事を後からふりかえって、五人の立場を客観的にとらえながら、章が恭、智明、ナスの三人に対して抱いた怒りと悲しみを想像して、罪悪感をおぼえている。